

# 平成から令和へ 令和初日 元気な赤ちゃんの産声

第114号 2019年5月6日発行

## ミマモルジュ挨拶

ホテルに宿泊客の様々な相談や  
ご要望に応えるコンシェルジュがいる  
ように、保育においても様々な  
ご要望や悩みがあると思います。

「見守る」+「コンシェルジュ」=  
ミマモルジュとして、保育に関する  
ご要望にお応えしていくよう  
活動していきます。

株式会社カグヤ 奥山卓矢

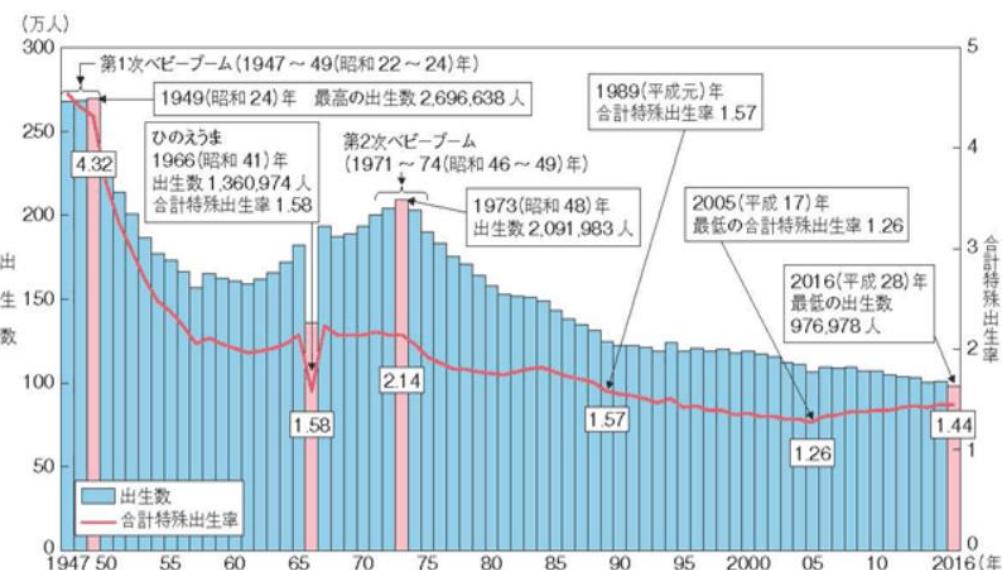
## 平成から令和へ

令和へと元号が新しくなり、令和初日に全国でたくさんの赤ちゃんが  
生まれたようです。

熊本市にある福田病院は、日本一出産の数が多い病院として有名なよう  
で、令和初日に生まれた一つのニュースをご紹介します。

「赤ちゃんが産まれる予定日は、今月12日の「母の日」でしたが、  
10日近く予定が早まったということで、明るい子に育ってほしいとい  
う願いを込め、「晴香」と名付けられました。」([熊本WEB NEWS](#)より)

そして、下図は1947年から統計がなされている、出生数及び合計特殊  
出生率の年次推移の資料です。



資料：厚生労働省「人口動態統計」



## 令和になって思うこと

昭和から平成に変わった時、私は母のお腹の中にいました。

同級生は、昭和 63 年、64 年、平成元年生まれが入り混じる特別な学年でもありました。

また、同級生に 1 月 7 日（昭和最後の日）生まれが多かったのは、ただの偶然ではなく、何か大きな力が働いていたのではないかと、今思うと感じます。

何かと、ゆとり世代と揶揄されることもしばしばありましたが、平成という時代が幕を閉じ、令和の幕開けに不思議な心持ちです。

私が生まれた平成元年は 1.57 ショックと衝撃が走ったようで、国としては子どもの数が減っていくことは、大変なことですが、生まれてきたそのいのちの一つひとつはどれも尊く、かけがえのないのちであることは変わりありません。

そして、令和へと元号が変わり、全国でたくさんの赤ちゃんが産声をあげたようです。

そんなニュースの報道を観ていると、こちらまで嬉しくなり、つい笑みがこぼれて、子どもたちが安心して成長できる環境や、やりたいと思うことをやらせてあげられる環境を用意してあげたいと考えてしまいます。

「子は宝」ということはいつの時代も変わらないことだと思いますが、新しい時代の子どもたちを見守っていけるよう、自分自身も変化を恐れず、新しい時代を生きていきたいと思います。

報告者：奥山 卓矢



〒161-0023

東京都新宿区西新宿 3-2-11 新宿三井ビルディング 2 号館 10 階

Tel:03-5909-7155

毎週月曜日に配信しています。

ミマモルジュメールマガジン発行：株式会社カグヤ 奥山卓矢

ミマモルジュメールマガジン



メールマガジンのご登録は、

QRコードからお願いします。